

平成26年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日
上場取引所 東

上場会社名 旭化学工業株式会社
 コード番号 7928 URL <http://www.asahikagakukogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 定時株主総会開催予定日 平成26年11月27日
 有価証券報告書提出予定日 平成26年11月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 杉浦 武
 (氏名) 奥村 哲男
 配当支払開始予定日

TEL 0566-92-4181
 平成26年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期	6,812	△0.8	2	△98.6	40	△78.5	△739	—
25年8月期	6,864	6.6	157	△54.9	188	△47.2	100	△61.5

(注) 包括利益 26年8月期 △681百万円 (—%) 25年8月期 796百万円 (226.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年8月期	△202.76	—	△14.7	0.7	0.0
25年8月期	27.66	—	2.0	3.2	2.3

(参考) 持分法投資損益 26年8月期 ー百万円 25年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年8月期	5,838	4,686	80.3	1,284.19
25年8月期	6,374	5,393	84.6	1,477.97

(参考) 自己資本 26年8月期 4,686百万円 25年8月期 5,393百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年8月期	310	△300	△26	1,063
25年8月期	432	△774	△55	1,055

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年8月期	—	4.00	—	4.00	8.00	29	28.9	0.6
26年8月期	—	3.00	—	3.00	6.00	21	—	0.4
27年8月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00	—	—	—

3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	△1.7	65	124.1	75	70.5	50	194.1	13.70
通期	7,000	2.8	140	—	160	300.0	110	—	30.15

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期	3,896,000 株	25年8月期	3,896,000 株
② 期末自己株式数	26年8月期	246,987 株	25年8月期	246,987 株
③ 期中平均株式数	26年8月期	3,649,013 株	25年8月期	3,649,035 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成26年8月期の個別業績(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期	3,137	△3.5	△20	—	90	△65.8	△878	—
25年8月期	3,251	△6.4	△6	—	264	58.9	236	76.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期	△240.72	—
25年8月期	64.73	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
26年8月期	3,321		2,937		88.4		804.93	
25年8月期	4,256		3,840		90.2		1,052.36	

(参考) 自己資本 26年8月期 2,937百万円 25年8月期 3,840百万円

2. 平成27年 8月期の個別業績予想(平成26年 9月 1日～平成27年 8月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	△7.4	55	△20.3	40	△29.8	10.96
通期	3,000	△4.4	110	22.2	80	—	21.92

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
(4) 事業等のリスク	4
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	6
(1) 会社の経営の基本方針	6
(2) 目標とする経営指標	6
(3) 中長期的な会社の経営戦略	6
(4) 会社の対処すべき課題	6
(5) その他、会社の経営上重要な事項	6
4. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
5. その他	16
(1) 代表取締役の異動	16
(2) その他の役員の異動	16
(3) その他	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀の金融緩和策により輸出産業を中心として企業業績が回復しました。反面、原材料価格やエネルギー価格の高騰、また消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れ懸念等、不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、電動工具業界におきましては、欧州やアジア等の堅調な経済に支えられ販売が順調に推移しました。一方、自動車業界におきましては、国内では消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化の影響にはありますが、為替が円安となったことから輸出が増加し、その結果生産も増加しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は68億12百万円（前期比0.8%減）となりました。一方、経常利益は40百万円（同78.5%減）、タイ工場の減損損失の計上により当期純損失は7億39百万円（前期は当期純利益1億円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(イ) 日本

国内は、電動工具向け製品及び自動車向け製品の受注が減少し、売上高は31億37百万円（前期比3.5%減）、営業損失は20百万円（前期は営業損失6百万円）となりました。

(ロ) 中国

中国は、円安による為替換算の影響により、売上高は37億29百万円（同0.2%増）となりましたが、材料費や人件費の増加により、営業利益は64百万円（同67.0%減）となりました。

(ハ) タイ

タイは、受注が増加し売上高は80百万円（同187.6%増）となりましたが、工場建物及び機械装置等の償却負担により、営業損失は1億22百万円（前期は営業損失91百万円）となりました。

②今後の見通し

最近の業績動向を踏まえると、国内では価格競争がますます厳しくなり、得意先からのコストダウン協力や同業他社との競合が激化すると思われまます。自社ブランドであるアンカープラグの開発を得意先と協力して行う体制を確立し商品力による差別化を図ってまいります。

中国工場は、取引先の厳しい品質要求に対応すべく製品の品質の改善に取り組み、新規受注の獲得を図ってまいります。

タイ工場は、新規受注の営業活動を強化し早期黒字化に向けた体制を図ってまいります。

この結果、次期の売上高は70億円（前期比2.8%増）、営業利益は1億40百万円（前期は営業利益2百万円）、経常利益は1億60百万円（同300.0%増）、当期純利益は1億10百万円（前期は当期純損失7億39百万円）を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は前期比5億36百万円減の58億38百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億69百万円増加しましたが、有形固定資産が6億86百万円減少したことによるものです。

負債合計は前期比1億71百万円増の11億52百万円となりました。これは主に、長期繰延税金負債が1億27百万円増加したことによるものです。

純資産の合計は前期比7億7百万円減少し46億86百万円となりました。これは主に利益剰余金が7億65百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期比8百万円増の10億63百万円となりました。また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3億10百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純損失が5億65百万円計上されましたが、減価償却費が2億50百万円及び減損損失が6億18百万円計上されたことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3億円となりました。これは主に定期預金の純支出が1億40百万円及び有形固定資産の取得による支出が1億72百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は26百万円となりました。これは主に配当金を26百万円支払ったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成22年8月期	平成23年8月期	平成24年8月期	平成25年8月期	平成26年8月期
自己資本比率（%）	82.7	83.1	83.5	84.6	80.3
時価ベースの自己資本比率（%）	30.3	37.5	30.5	24.4	27.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	—	—	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	—	—	2,237	1,468

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への長期にわたる安定的な利益還元、及び企業体質の強化と事業基盤の拡充に必要な内部留保の充実や今後の事業展開などを勘案して、株主の皆様への積極的な利益還元をはかることを基本方針とし、每期連結当期純利益の20%の配当を行う旨目標を掲げております。

当期の配当につきましては当期純損失を計上しましたが、安定した配当を実施するため1株当たり年間6円（中間3円、期末3円）の普通配当を予定しております。

また、次期の配当につきましては、厳しい業績予想のもと、1株当たり、年間6円（中間3円、期末3円）の普通配当を予想しております。

(4) 事業等のリスク

当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項については、当連結会計年度末現在において判断したものであります。

①特定の顧客への依存

当社グループは、プラスチック製品の成形及び加工を行っておりますが、その販売は特定の顧客に依存しております。この特定の顧客とは、継続的かつ安定した取引関係にあります。この顧客の生産及び販売の状況によっては、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

②海外市場での活動

当社グループは、中華人民共和国及びタイ王国に投資活動を行っておりますが、海外では為替リスクに加え、政情不安、経済動向の不確実性、文化の相違、さらには海外送金及び輸出入などの規制変更や税制変更等様々な障害を伴う可能性があり、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

③為替変動

為替変動は、当社グループの外貨建取引から発生する資産及び負債の日本円換算額に影響を与える可能性があります。また、外貨建で取引されている製品の価格に影響を与える可能性があります。これらは、当社グループの業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

④人材の雇用及び育成

当社グループは人材は重要な財産と捉えております。規模拡大及び存続のため優秀な人材を採用し経営理念に共感する人材育成に注力しています。従って優秀な人材を確保できない場合は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

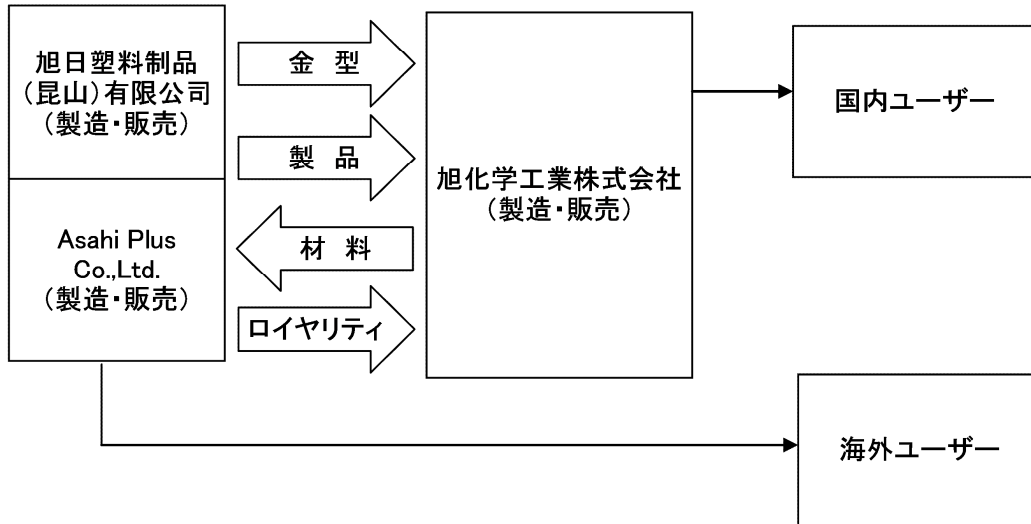
⑤自然災害等

近年、地震、台風をはじめとする自然災害が各地で多発しております。地震等による自然災害や火災などの事故で壊滅的な被害を受け、操業に重大な影響が発生した場合には、原材料の確保、生産、製品供給等に支障をきたし、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関連会社）は、当社（旭化学工業株式会社）及び子会社2社（旭日塑料制品（昆山）有限公司及びAsahi Plus Co.,Ltd.）により構成されており、事業として電動工具及び自動車部品等の樹脂成形、電動工具の組付、樹脂金型の設計製作、並びに自社製品である建築資材の製造販売を事業としております。

事業系統図は次のとおりであります。



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「愛されるプラスチックメーカー」を目指して、良い考え〔合理化の追求〕・良い商品〔信頼性の重視〕・良い職場〔人間性の尊重〕を社是として掲げ、「人・物・金は企業にとって限度がある。限度あるものを最高に活かすのが事業である。」との基本理念をもとに、創業以来、企業活動を行っております。

その基本理念のもと、社会のニーズに合った製品を造り出すための研究活動に注力し、技術力を高め、効率のよい生産システムを確立し、お客様及び市場からの評価を高め、収益力の向上と経営基盤の強化を図ってまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社は、当社グループの売上目標を100億円に設定し、毎年10%以上の増収を目指して事業活動を行っておりますが、当期は、前期比0.8%減の68億12百万円の売上となりました。

また、具体的な数値目標としましては、売上高売上総利益率20%を安定的に維持することを掲げております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、その販売を特定の得意先の特定の業種（電動工具業界及び自動車業界）に依存しております。平成26年8月期におきましては、その特定の得意先の売上高の総売上高に占める割合は、89.5%となります。また、電動工具部品及び自動車部品の売上高の総売上高の占める割合は、91.7%となります。この特定の得意先の動向が当社グループの業績に大きく影響を及ぼします。そのため、自社ブランドのアンカープラグの製品改良や新製品の研究開発に力を注ぎ、その特定の得意先以外への販売の増加を図ってまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

当社グループが属するプラスチック業界は、価格競争がますます激しくなり、得意先からのコストダウン協力や同業他社との競合が激化しており、厳しさを増しております。

中間管理者の育成、合理的な生産方法、新技術の導入など、あらゆる方面において情報収集をし、最適な生産方法、最適な生産地をグループ内の3か国4拠点にて選択し、競合他社に負けない体制作りを図ってまいります。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当連結会計年度 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,910,893	2,080,755
受取手形及び売掛金	934,190	822,662
商品及び製品	175,970	203,283
仕掛品	83,817	99,505
原材料及び貯蔵品	117,960	141,391
繰延税金資産	11,649	8,500
その他	108,201	136,886
貸倒引当金	△490	△1,660
流動資産合計	3,342,192	3,491,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,135,413	700,714
機械装置及び運搬具(純額)	736,313	488,874
土地	950,365	949,026
その他(純額)	28,151	25,457
有形固定資産合計	2,850,243	2,164,072
無形固定資産	12,328	10,931
投資その他の資産		
投資有価証券	143,160	143,240
その他	35,474	37,752
貸倒引当金	△8,630	△8,630
投資その他の資産合計	170,005	172,363
固定資産合計	3,032,577	2,347,368
資産合計	6,374,770	5,838,693
負債の部		
流動負債		
買掛金	706,938	743,996
未払法人税等	35,648	7,246
賞与引当金	17,902	12,524
役員賞与引当金	5,698	5,698
その他	140,285	178,195
流動負債合計	906,472	947,662
固定負債		
繰延税金負債	33,549	160,825
役員退職慰労引当金	38,766	42,256
その他	2,845	1,922
固定負債合計	75,161	205,004
負債合計	981,634	1,152,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当連結会計年度 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	3,692,461	2,927,048
自己株式	△132,927	△132,927
株主資本合計	4,961,259	4,195,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,172	59,243
為替換算調整勘定	373,703	430,936
その他の包括利益累計額合計	431,876	490,180
純資産合計	5,393,135	4,686,027
負債純資産合計	6,374,770	5,838,693

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	6,864,182	6,812,643
売上原価	6,172,051	6,276,599
売上総利益	692,131	536,044
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	97,537	102,548
役員報酬	68,776	59,735
給与・賞与	138,909	137,806
賞与引当金繰入額	4,139	3,180
役員賞与引当金繰入額	2,458	5,698
役員退職慰労引当金繰入額	3,497	3,490
退職給付費用	2,674	2,474
厚生費	71,371	70,150
貸倒引当金繰入額	—	1,170
その他	145,211	147,526
販売費及び一般管理費合計	534,575	533,779
営業利益	157,556	2,264
営業外収益		
受取利息	30,923	30,263
受取配当金	1,982	2,429
廃材売却収入	2,706	4,651
その他	1,274	1,972
営業外収益合計	36,886	39,317
営業外費用		
支払利息	193	211
為替差損	5,403	738
営業外費用合計	5,597	950
経常利益	188,846	40,631
特別利益		
固定資産売却益	—	614
投資有価証券売却益	16,112	14,151
特別利益合計	16,112	14,766
特別損失		
固定資産売却損	492	1,614
固定資産除却損	0	158
就業補償金	1,818	—
貸倒引当金繰入額	5,453	—
減損損失	—	618,708
特別損失合計	7,764	620,480
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	197,194	△565,083
法人税、住民税及び事業税	78,953	46,572
法人税等調整額	17,315	128,213
法人税等合計	96,268	174,786
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	100,926	△739,869
当期純利益又は当期純損失(△)	100,926	△739,869

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	100,926	△739,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,779	1,070
為替換算調整勘定	657,000	57,233
その他の包括利益合計	695,779	58,304
包括利益	796,705	△681,565
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	796,705	△681,565
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成24年9月1日至平成25年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	671,787	729,938	3,646,270	△132,908	4,915,087
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△40,139	—	△40,139
剰余金の配当(中間配当額)	—	—	△14,596	—	△14,596
当期純利益	—	—	100,926	—	100,926
自己株式の取得	—	—	—	△18	△18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	46,190	△18	46,172
当期末残高	671,787	729,938	3,692,461	△132,927	4,961,259

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	19,393	△283,296	△263,903	4,651,184
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△40,139
剰余金の配当(中間配当額)	—	—	—	△14,596
当期純利益	—	—	—	100,926
自己株式の取得	—	—	—	△18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	38,779	657,000	695,779	695,779
当期変動額合計	38,779	657,000	695,779	741,951
当期末残高	58,172	373,703	431,876	5,393,135

当連結会計年度(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	671,787	729,938	3,692,461	△132,927	4,961,259
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△14,596	—	△14,596
剰余金の配当(中間配当額)	—	—	△10,947	—	△10,947
当期純損失(△)	—	—	△739,869	—	△739,869
自己株式の取得	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	△765,412	—	△765,412
当期末残高	671,787	729,938	2,927,048	△132,927	4,195,847

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	58,172	373,703	431,876	5,393,135
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△14,596
剰余金の配当(中間配当額)	—	—	—	△10,947
当期純損失(△)	—	—	—	△739,869
自己株式の取得	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,070	57,233	58,304	58,304
当期変動額合計	1,070	57,233	58,304	△707,108
当期末残高	59,243	430,936	490,180	4,686,027

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	197,194	△565,083
減価償却費	242,029	250,299
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,715	△5,716
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,582	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,497	3,490
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,453	1,170
受取利息及び受取配当金	△32,906	△32,693
減損損失	—	618,708
支払利息	193	211
為替差損益(△は益)	△5,744	△4,107
投資有価証券売却損益(△は益)	△16,112	△14,151
有形固定資産売却損益(△は益)	492	999
有形固定資産除却損	0	158
売上債権の増減額(△は増加)	121,662	140,462
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,530	△58,888
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△15,925	△18,682
仕入債務の増減額(△は減少)	8,781	23,783
未払費用の増減額(△は減少)	616	4,608
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,300	16,527
その他の流動負債の増減額(△は減少)	11,763	△867
その他	—	16
小計	501,927	360,246
利息及び配当金の受取額	29,579	23,896
利息の支払額	△193	△211
法人税等の支払額	△98,648	△73,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	432,664	310,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△284,132	△445,464
定期預金の払戻による収入	188,594	305,159
有形固定資産の取得による支出	△703,913	△172,315
有形固定資産の売却による収入	905	1,936
無形固定資産の取得による支出	△779	△1,411
投資有価証券の取得による支出	△7,573	△6,497
投資有価証券の売却による収入	32,635	22,211
その他投資等の取得による支出	△629	△3,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△774,891	△300,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△18	—
配当金の支払額	△54,697	△25,724
その他	△600	△834
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,316	△26,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	270,013	24,513
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△127,530	8,382
現金及び現金同等物の期首残高	1,183,076	1,055,545
現金及び現金同等物の期末残高	1,055,545	1,063,928

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、プラスチック製品の成形加工事業の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国を旭日塑料制品(昆山)有限公司が、タイをAsahi Plus Co., Ltd. がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」及び「タイ」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、電動工具部品、自動車部品及びその他のプラスチック製品を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	日本	中国	タイ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,251,686	3,587,420	25,076	6,864,182	—	6,864,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	134,617	3,076	137,774	△137,774	—
計	3,251,766	3,722,037	28,153	7,001,957	△137,774	6,864,182
セグメント利益又は損失 (△)	△6,347	194,668	△91,783	96,537	61,019	157,556
セグメント資産	4,256,415	2,860,765	811,565	7,928,746	△1,553,976	6,374,770
その他の項目						
減価償却費	123,320	86,665	32,043	242,029	—	242,029
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	122,744	7,790	490,793	621,327	—	621,327

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自平成25年9月1日 至平成26年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	日本	中国	タイ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,137,701	3,598,144	76,797	6,812,643	—	6,812,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	130,969	4,162	135,131	△135,131	—
計	3,137,701	3,729,114	80,959	6,947,775	△135,131	6,812,643
セグメント利益又は損失 (△)	△20,676	64,259	△122,090	△78,507	80,771	2,264
セグメント資産	3,321,237	3,002,474	902,076	7,225,788	△1,387,094	5,838,693
その他の項目						
減価償却費	113,504	90,041	46,753	250,299	—	250,299
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	28,377	62,752	82,597	173,727	—	173,727

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自平成24年9月1日 至平成25年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成25年9月1日 至平成26年8月31日）

（単位：千円）

	日本	中国	タイ	合計
減損損失	—	—	618,708	618,708

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自平成25年9月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり純資産額	1,477円97銭	1,284円19銭
1株当たり当期純利益金額	27円66銭	1株当たり当期純損失金額 △202円76銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)	当連結会計年度 (自平成25年9月1日 至平成26年8月31日)
当期純利益金額又は当期純損失金額 (△) (千円)	100,926	△739,869
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額又は当期 純損失金額 (△) (千円)	100,926	△739,869
期中平均株式数 (千株)	3,649	3,649

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

(1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の異動

該当事項はありません。

(3) その他

該当事項はありません。